

再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道防災課
担当課長名：木村 昌司

事業名 一般国道477号四日市湯の山道路 <small>よっかいちゆのやま</small>	事業区分 一般国道	事業主体 三重県
起終点 自：三重県四日市市高角町 至：三重県三重郡菟野町音羽	延長 9.0 km	
事業概要 一般国道477号は、三重県四日市市を起点として滋賀県、京都府を経て、大阪府池田市に至る延長約205kmの幹線道路です。四日市湯の山道路は、「四日市インターアクセス道路」の一部で、東名阪四日市インターチェンジから第二名神菟野インターチェンジ（仮）までの区間の地域高規格道路です。4車線道路で計画していますが、事業効果の早期発現のため暫定2車線で整備を進めています。		
H 9年度事業化	H 6年度都市計画決定 (H 年度変更)	H 9年度用地着手
H 11年度工事着手		
全体事業費	390億円	事業進捗率
計画交通量		19,500台/日
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.6 (残事業) 4.6	総費用 (残事業)/(事業全体) 131 / 367億円 (事業費：123/359億円) 維持管理費： 8/ 8億円
総便益 (残事業)/(事業全体) 604 / 604億円 (走行時間短縮便益：602 / 602億円) (走行費用減少便益： 2 / 2億円) (交通事故減少便益： 0 / 0億円)		基準年 平成18年
事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築・・・地域高規格道路の位置づけあり ・重要港湾「四日市港」へのアクセス向上が期待される 他6項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 県内沿線の四日市市と菟野町で構成される「四日市インターアクセス道路整備促進期成同盟会」が結成されており、当該事業の早期完成を強く要望されています。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 関連事業である第二名神高速道路の四日市ジャンクション～亀山ジャンクション間の事業化が決定し、平成30年に完成予定と発表されました。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成15年度に高角インターチェンジの供用を開始し、平成18年度までの進捗率は、用地・工事も含め約56%です。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 工区内に東名阪アンダー工や橋梁など構造物が多く、進捗に影響を与えている。今後は、平成30年完成予定の第二名神高速道路と同調を図り事業を促進してまいります。		
施設の構造や工法の変更等 当初、全線立体道路を予定していましたが、構造要件の見直しを行い、一部平面道路としたにより、盛土および高架橋を減らし、コスト縮減を実施しています。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		